

# わが校自慢

## 大山小学校

本校の児童数は100名、教職員数16名です。本当に小さな小さな学校ですが、児童は素朴で素直ですし、保護者も協力的です。その小規模を生かして、他校では真似のできないさまざまな教育活動に取り組んでいます。いくつかご紹介します。

学校には多くの学校行事がありますが、まず、「秋季大運動会」は、地域・保護者が心を一つにして取り組みます。保護者の皆さんにも会場準備から片づけ、放送・用具・接待・決勝など、児童といっしょに係の仕事をさせていただきます。また、保護者の出場種目も決めていただきます。「梨美人」は楽しいですよ！かつて大山小の児童だった保護者の皆さんも、子どもにかえった気持ちで楽しんでます！



「大山台風接近中」  
(運動会の親子競技)



「昔遊び集会」  
(ベーゴマを地域のかたと)

「昔の遊び集会」は、全校児童が毎年行います。地域のかたがたが20名ほどご指導に来てくださいます。お手玉、色ごま、竹とんぼ、紙鉄砲などは、作る所から始めます。自分で作った物で挑戦する喜びは大きいですよ。みんなでたっぶり遊びます。

「全校遠足」も小規模校ならではの学校行事です。学年遠足と隔年で行いますが、全校児童で縦割りグループを作り、6年生が下の学年の面倒を見ながら遊んであげます。1年生が入学して間もないころですから、ここで学校がひとつになるのです。

そのほか、親子でいっしょに取り組むものに、「教育の日の芸術鑑賞」、「お話し聞かせの会」、「道徳の授業を親子で」などがあります。大山小は、このように、保護者・地域のかたがたに支えられた教育活動を行っています。

—白岡の古道をゆくvol.1—

## 鎌倉街道と みなみおにくぼしかんせき 南鬼窪氏館跡

ふるさと

## 白岡紀行



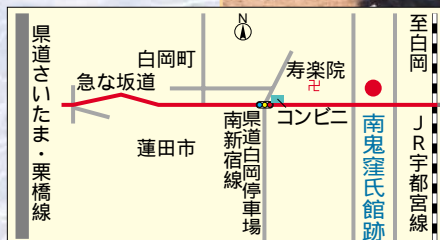
現在の鎌倉街道

鎌倉街道とは、鎌倉幕府が政治・軍事力の強化を目的に整備したもので、幹線ルートのほか、多数の枝道があったといえます。当町にも二つのルートがあり、その一つは、小久喜・白岡地区と蓮田市との堺を通り、元荒川方向へ降りていく道が「鎌倉街道」と伝承されています。

沿道には南鬼窪氏館跡という遺跡があり、発掘調査では堀をもつ16世紀ごろの館跡が確認されました。中世、小久喜・白岡・実ヶ谷付近は「鬼窪郷」と呼ばれ、武蔵国の有力武士団、野与党に属する鬼窪氏の本拠地とされています。鬼窪氏は源頼朝の命により、平氏追討の合戦へ使者として派遣されたことが「吾妻鏡」にみられます。鎌倉街道を進軍する鬼窪氏の隊列が目に見えようであり、遺跡はその末裔が構えた館なのでしょうが。



南鬼窪氏館跡  
発掘調査風景



南鬼窪氏館跡  
鎌倉街道